

建設業の未来、地域の発展への想い

奈良 **新** 創造時代 2022

上武建設編



●ひかりが丘地区への注意喚起灯の寄贈

2018年3月に事故が多発している北田原中学校線と第2高山西田原線との交差点に対し「地域の皆さまに、よりよい暮らしを提供できれば」との思いから注意喚起灯を寄贈した。



●医療機関・自治体へのマスクの寄贈

新型コロナウイルスが流行し始めた2020年には、医療従事者を応援するため奈良県新型コロナウイルス感染症対策基金に寄付。地域医療機関や学校、自治体へマスクを寄贈。



●生駒市福祉団体への寄付

1982年に開所した生駒福祉作業所「生駒市障がい児・者を守る連合会」の運営資金作りのチャリティーショーから始まり、「社会福祉法人いこま福祉会」となった現在も支援を続けている。

本紙では10月、未来の景色を作るため、社会の課題に向き合う、あるいは目標に向かう人を紹介する「奈良 新創造時代2022」の特集に取り組んできた。
関西に重宝を置き、50年以上にわたり重機工事の専門業者として一筋に、社業に取り組み、地域を支える上武建設(生駒市)。同社もまた建設業の未来、地域の発展のために、多様な活動を続けている。今回は、2002年の同社の寄付や寄贈などの支援活動を中心に振り返り、新しい時代へ創造の芽を育むその想いを紹介する。



●制度始まって初の遺贈寄付

2021年1月、生駒市を寄付先に指定した南都銀行の遺言代用信託に制度開始後、初めての申請者として生駒市から感謝状が贈られた。



●生駒北小中学校へ書籍の寄贈

2017年に初めて私募債を発行し、上武会長の母校である生駒北小中学校へ書架と書籍を寄贈。以降、毎年継続して書籍の寄贈を行っている。2022年に新たに私募債を発行し、約600冊の書籍を寄贈。5年間で寄贈した書籍は約1500冊に達した。

この他にもどんどこまつり・生駒の素人名人会などいろいろなイベントに協賛をしている。

継続的な活動を積み重ね 新しい創造の芽を育む



●上武建設株式会社グループ杯野球大会

2019年、生駒市軟式学童野球連盟主催の上武建設株式会社グループ杯野球大会に協賛し、優勝旗と準優勝旗、メダルを寄贈。新型コロナウイルスの流行により2021年は中止されたが、毎年6月に大会が開催されており、今年で3回目を迎えた。



●イルミネーション・記念植樹の寄贈

2021年12月には花のまちづくりセンターふるらむ20周年のお祝いに記念植樹としてフンゲンストウヒとイルミネーションを寄贈した。寄贈したイルミネーションは同施設で今年も飾られた。

初心と感謝を忘れず、 地域の役に立つ

当社は昭和45年に創業し、同48年に設立、今年4月には設立50周年を迎えました。当初はオイルショックで重機の燃料も入手できず、経営危機に陥りました。
この困難を乗り越えられたのはお客様や地域の皆様、社員、家族の支えのおかげであり、身をもって信頼関係のありがたさを実感しました。
私の経営方針は「初心を忘れず地域とお客様を大切に」目配り気配りをして、足元を固め地に足を付けて大きく未来へは「ばたく」幾度の困難を乗り越えてきたからこそ感じるのは「たぐん」の方に支えられて今の上武建設がある、ということ。この気持ちをお客様、今後も地域やお客様に感謝し、経営が苦しいときに支えてもらったご恩に報いるため、地域への貢献へより一層、力を入れるとともに、社員一同、社業に邁進してまいります。

上武建設株式会社 創業者
上武 勝宣氏



学校図書館に 新聞はありますか？

YES

複数紙あると
理想的です

NO

新聞購読のための
予算がありません



Q 学校図書館で新聞はどう使えますか？

A 司書と教員がテーマ別の新聞スクラップブックを作ることと、授業や調べ学習に活用できます。子どもたちは世の中とのつながりを実感でき、学びの姿勢はより主体的になります。



学校図書館と新聞について紹介しています！◎<https://nie.jp/library/>

Q 新聞購読の予算とは何のことですか？

A 学校図書館の活用推進を掲げる学習指導要領の理念に沿って、国は公立学校の図書整備に2022年からの5年間で2400億円の地方財政措置(地方交付税)を講じています。しかし、地方交付税の使い道は自治体に委ねられているため、学校図書館の予算や充実度に地域間格差が生じています。

◎図書整備予算内訳(2022~26年度)

新聞の購入	190億円(38億円/年) ※小学校2紙、中学校3紙、高校5紙の購入が可能
蔵書整備	995億円(199億円/年)
学校司書の補充	1215億円(243億円/年)

学校図書館への新聞配備が着実に実現するよう、私たちは自治体や教育委員会に働きかけを続けています。お住まいの自治体で適切に予算が執行され、学校図書館に新聞が置かれているか、目を向けてみてください。

一般社団法人 日本新聞協会

〒100-8543 東京都千代田区千代田2-2-1 日本プレスセンタービル7階
電話: 03-3591-4410 FAX: 03-3592-6577 Eメール: nie@pressnet.or.jp